

平成24年度田辺市防災会議 議事録（要旨）

1 日 時 平成25年2月22日（金）13：30～14：30

2 会 場 田辺市教育研究所 3階 会議室

3 出席者

(1) 出席委員（37名）

真砂会長、三角委員、植村委員、竹下委員、田中雄三委員、米沢委員、市場委員、平林委員、宮本隆之委員、永田委員、松尾委員、池田委員、田中敦委員、杉浦委員、松原委員、中村委員、小山委員、谷中委員、鹿子委員、辻委員、宮本和幸委員、玉置委員、山本委員、釣本委員、榎本委員、田中庸雄委員、那須幹司委員、泉委員、坂本委員、古久保委員、尾崎委員、松本委員、津田委員、那須秀雄委員、田中稔委員、愛瀬委員、栗栖委員

(2) 欠席委員（2名）

平野委員、折戸委員

(3) 事務局（10名）

総務部長 岡本

防災対策課 宮脇、茨、的場、原田、前田

行政局 寒川、中、松本、小守

4 傍聴者 2名

5 内容（議題）

(1) 田辺市地域防災計画の修正について

事務局から田辺市地域防災計画24年度修正（案）について説明を行った。

【質疑・意見等】

委 員：応援協定都市で大阪府羽曳野市、奈良県橿原市と協定を結んだ経緯を教えてください。

事務局：阪神淡路大震災を機に羽曳野市と橿原市と協定を結んだのが始まりです。この2市について（会長）いは海がないこともあり、田辺市が被害を受けても同様の被害が及ばないことが考えられ地理的条件、市間の距離なども考慮している。また、今年度三市間で協定を再締結したのは、東日本大震災で多くの市町村の庁舎が被災したことで貴重な行政データが被害を受け復旧復興に支障があったことを踏まえお互いの市の行政データを保存する項目を新たに追加し再締結している。その他協定では、田辺市と友好提携を結んでいる市町防災間でお互い応援し合うような協定なども締結している。

○その他、質疑・意見等特になく、承認を得た。

(2) 地震・津波対策をはじめとした防災対策の強化について

事務局から平成24年度の主な防災対策事業の概要及び平成25年度の主な防災対策事業の計画について説明を行った。

【質疑・意見等】

委員：旧田辺市内は津波避難ビルとして民間のビルを指定しているが、大塔村などその他の地域において土砂災害等を考慮しJA等のビルを避難ビルとして指定する計画はあるか。

事務局：津波避難ビルについては、沿岸部において津波に対し避難に要する時間がなく、高台等に逃げるできないなどの事情を考慮し、ビル所有者の協力を得て24時間使用できることを条件に指定している。土砂災害については、事前に台風など気象予報が可能なことから津波に比べ時間的な余裕があるものと考えている。しかしながら付近に堅牢なビルがあるのであれば地域において避難所の使用ということで協定を締結することも今後可能かと考えられるのでご理解いただきたい。また、物資の面では、すでにJAと協定を締結していることから、この協定に地域の避難所として使用することを盛り込むことも今後考えられる。避難ビルの指定については、津波からの避難を目的としていることからご理解いただきたい。

(3) その他

委員：南部ブロックではブロック内の11町内会、小中学校及び保育所と連携して津波避難訓練に取り組んでいる。昨年度は約1,500人、今年度は1,700人と参加も増加している。また、避難に要する時間も年々短縮され訓練の成果が出てきている。今後も継続して取り組みたい。

6 その他

事務局から次のとおり報告を行った。

○今後、県から津波浸水予測（3月末）及び被害想定（8月頃）が発表される予定になっており従来に比べ厳しいものになると予想される。よって、平成25年度については防災会議を数回開催する予定だがご協力をお願いしたい。